

佐久市議会議員 議会報告

高柳 ひろゆき 通信

発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6  
電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021  
メールアドレス [shionada5586@ybb.ne.jp](mailto:shionada5586@ybb.ne.jp)



● ご挨拶

こんにちは、朝夕めっきり寒くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の第5波が終息しつつあり、経済活動も徐々に活発となってまいりました。懸念する第6波に備え個人的にできる感染防止対策は大変重要な事だと思います。さて、今回は第3回定例会議（8月31日～9月30日の間）で審査された前年度の決算状況や決算特別委員会での気になった意見、また提出された川西地域に関連する議案や国民健康保険に関する陳情審査についてご案内申し上げます。

● 決算状況と今後の財政見通しについて

令和2年度の一般会計及び特別会計（国民健康保険・介護保険等）の歳入額は884億6,971万3,946円で歳出が837億156万9,328円であり歳入歳出差引額は、47億6,814万4,618円でした。翌年度へ繰り越す財源33億846万5,900円を差し引いた実質収支額は14億5,967万8,718円黒字となりました。監査委員の意見書に、現状の佐久市の財政状況は、県下19市の中で上位となっているが、令和2年度で、年間最大22億円の恩恵があった合併特例措置が終了し、新型コロナウイルス感染症対策を見据えた予算の配分や、佐久市公共施設等管理計画で発表されている施設の更新、維持管理費また扶助費の増大により、今後は厳しい財政運営が見込まれ、限られた財源の有効活用が重要であると謳われています。

● 決算特別委員会審査で気になった審査内容

令和2年度心のほっとライン佐久への延べ相談数が増えた理由と相談内容について

相談内容	1 心の健康問題（530件）	2 家庭問題（14件）	3 自殺関連（10件）	4 経済問題（6件）
年代	1 60代（368件）	2 70代（84件）	3 50代（65件）	

コロナ禍での、人々のふれあいが断たれたため、孤独に陥り精神的に追い詰められている状況が伺えます。昨年度の自殺者は、新聞報道によると2万1,081人で、男性1万4,055人、女性7,026人で女性の自殺者は前年より935人（15.4%）増との事です。コロナ禍で雇用環境が悪化し、非正規雇用で働く女性に影響が出ています。コロナ禍で75万人の非正規雇用が失われその7割が女性といわれています。佐久地域においては心の健康問題が大きな比重を占めていますが、突き詰めていくと新型コロナウイルス感染症による雇用の問題もあるはずで、早急な国の経済政策が望まれます。

● 今定例会での川西地域に関連する可決議案について

(条例案) 佐久市民会館の条例の一部を改正する条例の制定について

新規にオープンする東会館の使用料算定に伴い、浅科会館の使用料の算定の間違いが発覚し、利用料の改正を行いました。開館以降4団体が利用しており、7,600円の還付金が発生しました。

(事件案) 「過疎地域持続的発展市町村計画」の策定について

令和3年4月に、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、望月地域の発展を図るために策定されました。基本方針(1)として地域医療環境や交通手段の不安を払しょくすると共に、耕作放棄地の整備、子育て環境の確保を推進し、主産業の育成や企業誘致、福祉の向上等に取り組み、安心して住める環境の確保をします。(2)として望月地区に根付いた独特な文化の継承と地域を支える豊かな人材の育成。(3)として地域の魅力発信をすることで、関係人口、交流人口の増加を図り、移住者を増加させるための体制整備を図ります。

(予算案)

- ① 望月地区で蓼科ケーブルビジョンのサービスエリアと重複している300世帯に対して予算1,350万円の事業費で佐久ケーブルテレビの光伝送路の整備が可決されました。
- ② 春日体育館のトイレ改修費用として2,800万円が可決されました。



春日体育館

## ●新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少世帯に対する国民健康保険税の拡充を求める陳情について

**陳情内容** 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に対して申請することで昨年度より、国民健康保険の全額又は一部の免除が受けられるようになったが、令和3年度は既にコロナ禍の影響が大きな令和2年度の収入に対して3割減取の場合と申請基準の条件が厳しく、また収入から、国・自治体からの給付金を除外することにより、実際に減免を受けることができる事業者は、大幅に減る仕組みとなっています。減免対象者の収入を昨年並みにするには、市独自の減免基準を設け財政措置をお願いしたい。また政府に対する減免基準の見直しをお願いしたい。

上記陳情は社会委員会で審査され、最終日の本会議場で社会委員長報告に反対の立場での討論と賛成の立場での討論がありましたので概要をご案内します。

- 反対討論内容**
- ① 昨年度の減免申請は最終的に120件程度だが、本年は条件が厳しいため、現在18件しかない。
  - ② 補助財源が4割あるなかで市が独自の減免を行った場合の市の負担は1,400万円となりますが佐久市の健康保険基金は現在6億円あり、県下でもトップクラスであり、国保財政の現状から考えても不可能ではない。
  - ③ 国民健康保険は社会保障制度であり自己責任自己負担とは対極的であり公平性の観点からもおかしくない。
- 賛成討論内容**
- ① 既に、前年の総所得が一定以下の世帯には、総所得額に応じ均等割、平等割額の7割、5割、2割が軽減されている。
  - ② 基金の活用方針は、制度変更により被保険者に過度な影響が出る場合や、予定外の負担増による場合の激減緩和措置ということで、6月議会で確認済みであり、今回の財政措置とは健康保険基金の取り崩しと解釈したが、基金の取り崩しは、基金の用途を不明瞭とし将来へ続く健全な基金額の維持を脅かしかねない。
  - ③ 保険税収入が減少した一部を収入が減少していない被保険者の保険税でカバーすることは理解が得られない。
- 私は、反対討論内容に賛成させていただきましたが、結果は反対8名、賛成17名で不採択となりました。

## 下記の一般質問を行いました

### 通学路の安全確保について

(高柳) 通学路安全プログラムが策定されてからの改善個所の累計数は。

(小泉学校教育部長) 平成27年度から昨年までの対応要望個所の累計は680箇所  
で一定の対策が実施された箇所の累計は418箇所になる。

(高柳) 昨年度の要望に対する改善個所数は。

(小泉学校教育部長) 昨年度の要望箇所の合計は144箇所、このうち令和3年3月末日  
で対応実施箇所は65箇所になる。対策未実施の79箇所については、市において次年度以降の検討としたものが38箇所、市  
以外の関係機関で検討中のものが35箇所、その他が6箇所となる。ハード面の安全対策要望は、道路の拡幅や歩道の設置等  
短期間で方向性を決める事が困難であり、この様な事業化が難しい案件については、事業管理者がグリーンベルトなど代わり  
の対策を検討している。またソフト面の対策として、地域の皆さんによる見守り活動や警察によるパトロールを強化すること  
で、通学路の安全確保に努めている。

(高柳) 本年度の通学路交通安全プログラムに係わる事業の進捗状況は。

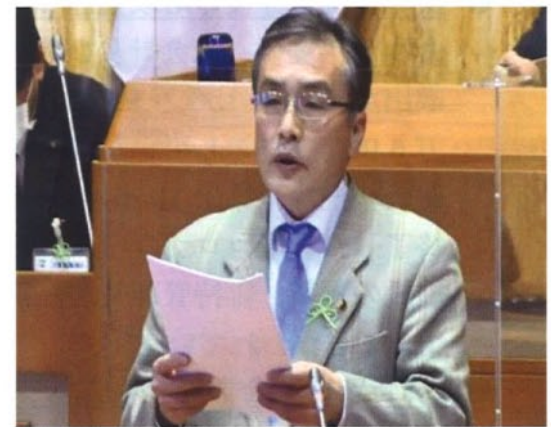
(小泉学校教育部長) 現在把握している件数は176件で、45件については合同点検を終了している。

(高柳) 千葉県八街市の事故を受けて国からの指示で実施する合同点検の結果をふまえての市の対応は。

(小泉学校教育部長) 7月15日付で国から示された通学路における合同点検実施要領では、「見通しの良い道路や幹線道路  
の抜け道となっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い  
箇所」、「過去に事故にいたらなくてもヒヤリハットした事例があった箇所」、「保護者  
見守り活動者、地域住民の方から市町村へ改善要請があった箇所」の3点となり、  
以上の3つの観点を踏まえ、各学校から報告があった62件を対象として、現在合同点  
検を行っている。

(高柳) 佐久市の小学校児童の登校の見守り活動の現状は。

(小泉学校教育部長) 現在555名の方に、各地域で見守り活動に参加していただいている。浅科小学校は35名、望月小学校  
は20名の方にご協力をいただいている。小学校では年度当初に、登下校時間や年間の予定についてお知らせするとともに、  
登下校時間の変更があった場合の連絡方法等を見守り隊の代表者と打ち合わせを行っている。各小学校では年度末の節目に  
見守り活動をされている皆さんを学校に招いて感謝する会を開くなど児童により、日頃の見守り活動に対するお礼を申し上げ  
ている。また入学式や、運動会など学校行事にもご臨席いただき児童の成長をご覧いただいている。



皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せ下さい！！

<https://takayanagi-hiroyuki.net/>

